

1969年7月 日

先生

自動車ジャーナリスト協会

会長 高岸清

ご挨拶と当会顧問ご就任お願いの件

拝啓

時下さいよいよご清祥のことと拝察し慶賀申し上げます。

近来、モータリゼーションの急速な進展にともない、自動車関係の報道・論説などが専門紙誌のみならず、広くマスコミ全体にとりあげられる時代となりました。

自動車がこのように生活の一部にはいりこんで参りました現在の実情からして、自動車について比較的安易な解説や論評をこころみるいわゆる自称評論家の輩出を見るにいたりましたのはきわめて残念なことであります。無責任な言論指導なし、世論の醸成は健全なモータリゼーションを誤った方向に導く惧れなしとしないのであり、かつまた、このために永年真面目に専門的研究を続けて来た人達もふくめて、自動車ジャーナリスト全体が一方では批判の対象にされる形勢であります。

私達は過去三年間、こうした事態を予想してお互に協力して参りましたが、この機会に自動車ジャーナリストとしてそれぞれの分野で責任ある活動をしている個人の加盟する団体を結成することにいたしました。

当会は先進諸国にある専門家団体にならい「自動車ジャーナリスト協会」(Automotive Journalists Association of Japan — 略 AJAJ)と呼称し、発会に当つては過去五年間の実績をもつ個人を基準に会員はまだきわめて少數ではありますが、将来は専門家の信用を裏づける権威ある協会となるよう一同相携えて努力する所存であります。については、こうした当会結成の趣旨にご賛同戴ければまことに光栄に存じますが、当会学術顧問として是非貴先生のご令名を拝借戴きたいと存じ、失礼をも顧みず書面をもつてお願い申し上げる次第であります。

何卒誠意のほどご賢察の上、ご承認賜わることができますれば当会の感激これに過ぐるものはございません。

こゝにご挨拶を兼ね今後ともなお一層のご指導ご鞭撻のほどあわせてお願い申し上げます。

敬　　具